

## 後期基本計画策定に向け

# 市政懇談会を開催

市は7月4日から8月7日にかけて、市内14会場で市政懇談会を開催しました。懇談会には、435人が参加し、活発な意見交換を行いました。その中から、主なものを紹介します。寄せられた意見や提言は、高梁市新総合計画の後期基本計画に反映します。



**農** 家にとって、イノシシとサルの被害が大きな問題となっている。駆除などの対策に力を入れてほしい。

**答** イノシシは防護柵を設置することで、いくらかは防ぐことができますが、サルは天然記念物区域での保護という観点もあり、抜本的な対策ができていないのが現状です。猟友会と協力して、駆除するように対策を進めています。また、荒れた土地が多くなっているのも被害が増える一因になっています。山林や農地の荒廃を防ぐ事業を実施し、荒廃地を失くすことが大切だと考えます。

**人** 口増加の前提になるのが、雇用の場の確保だと思う。雇用の場の確保にどのような努力をしているのか。

**答** 市内の大手企業は、市内在住者を優先して雇用いただいています。新しい企業による雇用の拡大も一つの方策として考え、起業家の支援も進めています。市は企業誘致担当の係を設置し、さまざまなところに向いて企業誘致に取り組んでいます。後期基本計画の中で雇用の場の確保は、定住のための重要な政策であると認識しています。

## 今

年で4回目となるヒルクライムレースを非常に楽しみにしている。高倉地域は、このレースのおかげで地域が活気づいている。今後、この大会をどのように位置づけるのか。

**答** スポーツによる交流人口の増加も地域振興の一つと考えています。このレースの開催で、地域の活力が高まり、地域が一つにまとまるというところは、喜ばしいことです。レース参加者は、地域の歓迎にとっても満足しています。今後も継続して実施したいと考えています。ご協力よろしくお祈りします。

## 市

内で分娩できなくなったと聞いた。成羽病院で子どもを産める体制をつくってほしい。

**答** 産科の問題は大変ご心配をお掛けしています。成羽病院に産科の設備を整えることは可能ですが、産婦人科の医師を確保するのが非常に困難です。しかし、市内で安心して子どもを産み育てていくことができるよう、今後も努力を続けていきます。

## 昼

間の人口よりも夜の人口の方が少ないということ、市内に勤めに来て、夜は市外に帰る人が多いと聞いている。そういう人に高梁市に住んでもらうために、分譲地を新しく造成しては。

**答** 高梁市の昼間人口は、約3千人が市外に出て、約5千人が市内に入ってきている状況です。市内の人だけでは、働き手が足りないのです。企業はやむなく市外に人材を求めていると聞い

## 農

林業の担い手、後継者を育てるためにはどうすればいいかを考えてほしい。営農集団や集落営農の育成を望む。

**答** 担い手育成、集落営農について、「人・農地プラン」を進めています。このプランを作ること、新規就農者への支援を受けられるようになります。また、農地の集積(貸し借り)や荒廃農地解消のための市独自の支援措置があります。こういった制度を活用してもらい、営農集団や集落営農の育成や法人化を図っていきます。

## 3

世代家族が人口問題を解決すると思っている。知恵を絞って考えていただきたい。



**答** 3世代家族は、非常に大切でなく、学校でも地域のおじいちゃん、おばあちゃんにご協力いただき、昔遊びや手習いをしていただいています。このように高齢者に積極的に子育てに関わっていただくことが、子どもたちの将来にとって非常に良いことだと思います。